



みんなでつなごう！支えあいの輪！
～生活支援コーディネーター通信～



第 28 号
令和 6 年 8 月発行

高崎市生活支援
コーディネーター
通信

めざせ！ワンハート

みなさまへ

暑い毎日が続いていますが、みなさんいかがお過ごしでしょうか。7月末に第2層協議体小規模情報交換会を開催しました。各々の協議体に情報を持ち帰り、今後の協議体活動に活かしていきましょう。

今月号のSC通信では、改めて、第2層協議体の役割や機能についてまとめてみました。ぜひ、ご覧いただき、今後の活動の参考にさせていただけますと幸いです。

まだまだ暑い日が続きます。水分補給を心がけ、熱中症には十分気を付けましょう。



6・7月の第1層協議体の話し合いの内容



6月

<住民企画会議>

- ① 助け合い活動の考え方の整理
→お互い様で助け合う活動
高齢者の社会参加・介護予防の視点が大切
- ② 区長民生委員への説明会 高崎市が外向き説明
- ③ **第2層・第3層協議体の区別→今回のSC通信で紹介**
- ④ 周知活動 10/7 第2層協議体情報交換会
10/26 ふれあいの広場 11/24 地域包括ケアフェスティバル

<事業推進会議>

- 【グループワーク】
- ・「普及啓発」「企画推進」「活動創出・支援」の3グループに分けてグループワークを実施
 - ・事業推進のためのアイデア出し

7月

<住民企画会議>

- ① 第2層協議体情報交換会について検討
- ② 2地区が一緒の地区の進め方
→お互いの情報共有ができるようにしていく
- ③ **第2層協議体の役割について整理**
→今回のSC通信で紹介

<事業推進会議>

- 【グループワーク】
- ・「普及啓発」「企画推進」「活動創出・支援」の3グループに分けてグループワークを実施
 - ・事業推進のための計画作成

第1層生活支援コーディネーターよりお願い



生活支援コーディネーター通信は、市内外の協議体の取り組みや様々な助け合い活動を紹介したいと思っております。市内の活動で掲載して欲しい活動があればコーディネーターまでご連絡ください。その他、ご意見、ご感想もお寄せください。お待ちしております。また、**「新しく支え合い活動を立ち上げたい」、「既存の活動を今後どうしていけばよいのか困っている」** そうしたみなさんからの相談も第1層生活支援コーディネーターまでお気軽にお声がけください。

第2層協議体について

改めて協議体の機能について説明します。協議体活動の再確認にぜひご活用ください。

協議体活動の大切な視点



社会参加・介護予防・生活支援 ネットワークづくり



何のために

誰のために

こうなったらいいな

住民・高齢者あんしんセンター・行政・社会福祉協議会 等
フラットな関係

課題を 見つける

- ・ 解決できそうな課題を見つける
- ・ 地域の特性を共有する

できること 探し

- ・ まずできることを考える
- ・ 仲間を増やす
- ・ ひとりひとりの心を動かす

活動実践

入口はハードル低く・出口はたくさん

助け合い

居場所

見守り

声かけ

協議体の機能

目指す地域像の共有

5年後10年後こういう
地域になったらいいね

地域の困り事や

ニーズを調査

アンケート調査等

地域の困り事やニーズ

を支えている資源

を調べる

どんな地域資源があるか？

地域の困りごとに

お互いさまで支え合う

担い手を育てる

地域ニーズに対応できる手を増やす
ネットワークを構築する

新たな活動を生み出す

地域に足りない助け合い活動を
協議体の中で考える

周知・情報発信

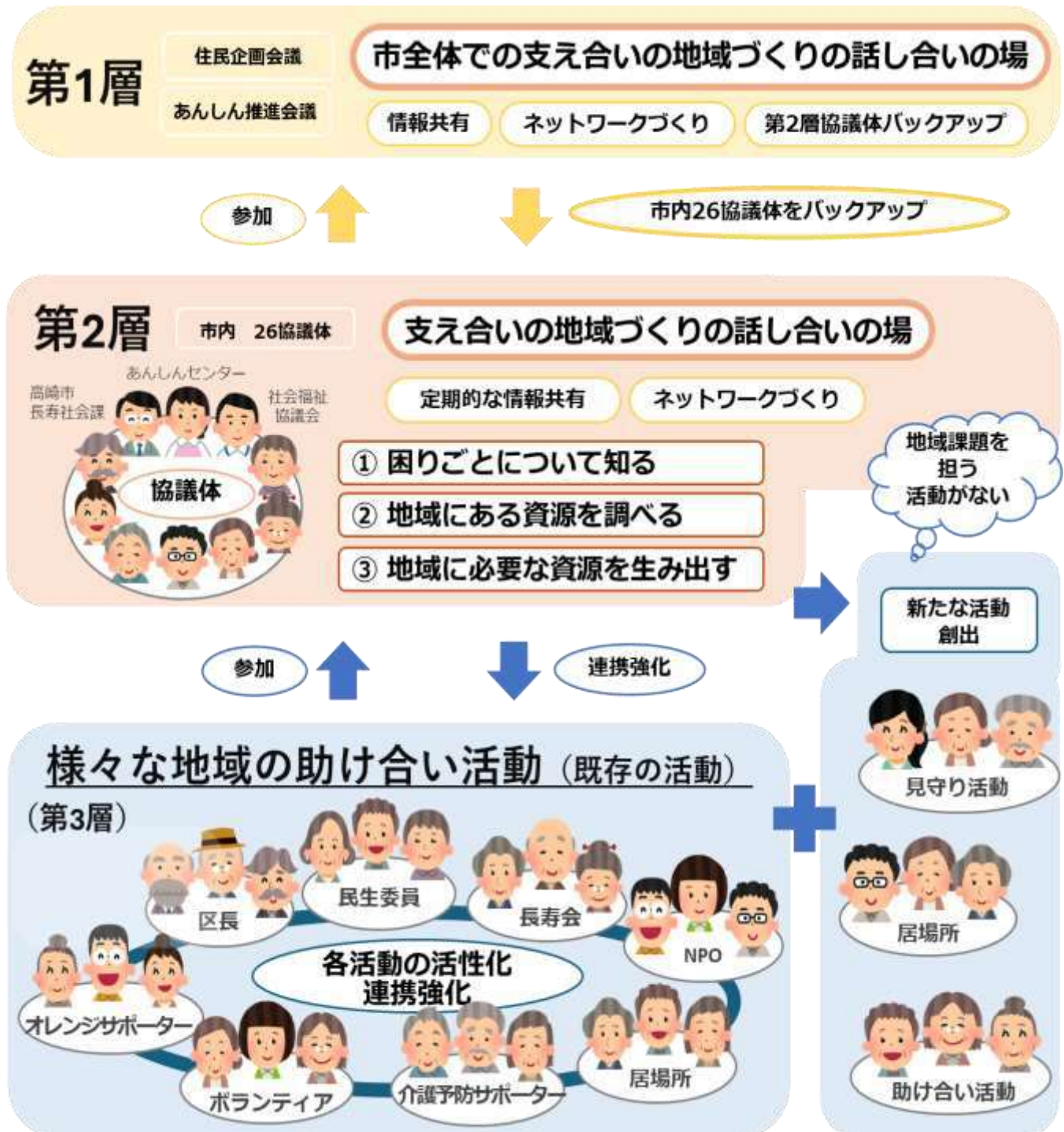
仲間づくり・連携強化

多様な主体へ働きかけ

第1層協議体・第2層協議体の役割と機能

様々な地域の助け合い活動・既存の活動（第3層）について

第1層協議体や第2層協議体でも「第2層協議体と様々な地域の助け合い活動・既存の活動（第3層）の違いが分かりにくい」「わかりやすく説明した資料があったらほしい」というご意見をいただいておりますので、改めて整理したものを載せております。ぜひ、参考にしてみてください。



第2層協議体は、「地域の支え合いの地域づくりの話し合いの場」です。主に、「①地域の困り事について知る」「②地域にある資源を調べる」「③地域に資源が足りない場合は、必要な資源を生み出す」「④各活動の連携強化・ネットワークづくりを行う」といった機能があります。生み出された活動は、様々な地域の助け合い活動に位置付けられます。第2層協議体は活動主体ではなく、あくまで「地域の支え合いを考える作戦会議の場」です。

第2層協議体小規模情報交換会を終えて

前回のアンケートの声

- ・地域活動（第3層）の情報交換が中心であり、第2層協議体の情報交換ができていない。
- ・情報交換のテーマを決めて話をしてみてもよいのではないか。



今回の第2層協議体小規模情報交換会では…

- ・近隣の協議体で同様な取り組みについて検討している協議体をまとめ、テーマ別で実施
- ・改めて第2層協議体の活動に焦点を絞る。
 - ➡地域活動（第3層）の活動を第2層協議体としてどのようにバックアップするか？
 - ➡地域の担い手発掘をするにはどうしたらいいか？

10年目を迎え、次の一步につながる情報交換会にする



第2層協議体小規模情報交換会で得た情報を各協議体に持ち帰り、それぞれの協議体のメンバーとも情報共有をし、高崎市全体で協議体の活動を盛り上げていきましょう。なお、第2層協議体小規模情報交換会で話し合われた内容や当日の様子につきましては9月のSC通信特別号で紹介いたします。ぜひ、ご覧ください。



目的が手段にならないように

テーマがあることで充実した情報交換になった

参加者の声

共通の課題について第2層協議体で協力して考えたい

初心に戻って協議体の活動に取り組みたい



発行元：高崎市第1層生活支援コーディネーター
連絡先：027-321-1319（高崎市長寿社会課）

高崎市 HP「お互い様で支え合う地域づくり（生活支援体制整備事業）」
<https://www.city.takasaki.gunma.jp/docs/2019011800019/>

